

令和2年度(本社・東京営業所)

実施月	項目	指導事項	外部研修又は乗務研修
5月	I バスを運転する心構え	<ul style="list-style-type: none"> ・バス運転士の社会的使命 ・バスの交通事故は影響が大きい ・バス運転士はほかの運転者の模範等 	
	IV 乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の身体特性・行動性 ・車両火災に備えて ・急の運転には注意等 	
	VI 運行経路・路線における道路及び交通の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・道路・交通状況の把握 ・バック・上方の注意点 ・運行情報・気象情報の把握 ・下り坂の走行の仕方等 	
6月	VII 危険の予測及び回避並びに緊急時における対処方法	<ul style="list-style-type: none"> ・危険予測運転の必要性 ・悪天候の危険予測 ・事故・車両故障時の対応 ・自然災害発生時の対応等 	
	X 健康管理の重要性	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病 ・疲労防止ための運行中の留意点 ・加齢に伴う心身機能の低下 ・健康起因事故と健康管理の必要性等 	
	III バスの構造上の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・車高・車長・車幅の特徴 ・死角の大きさ ・多様化するバス車両等 	
7月	V 乗客が乗降するときの安全確保するために留意すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・滑らかな発進と停止 ・乗降時の注意点 ・高齢者・障がい者の特徴及び注意点 	
	II バスの運行の安全、乗客の安全を確保するために遵守すべきこと	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者が遵守すべき法令 ・バス運転士の遵守事項 ・事故、違反に対する運転士の責任 ・道義的、社会的責任等 	
	VIII 運転者の運転適性に応じた安全運転	<ul style="list-style-type: none"> ・運転のメカニズム ・交通事故の生理的・心理的要因 ・交通事故の主な原因 ・瞬間視の限界等 	
8月	IX 交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処方法	<ul style="list-style-type: none"> ・運転適性診断の必要性 ・性格の診断結果の活用 ・安全運転態度・危険感受性・注意配分等の問題がみられる場合 	
	XI 安全性の向上を図るための装置を備える貸切バスの適切な運転方法	<ul style="list-style-type: none"> ・運転支援装置の機能を正確に知ろう ・運転支援装置を過信したことによる事故事例 ・各装置の特長等 	
	XII ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転(随時)	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブレコーダーの目的 ・事故未然防止の手法 ・運転の「癖」に潜む危険 ・ドラレコでの危険予知訓練・ヒヤリハット等 	
教育月	13 ヒヤリハット・危険予知トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> ・他社のヒヤリハット映像での危険予知 ・自社のヒヤリハット映像での危険予知 	